

令和3年度 佛教大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に
対応した試験実施のガイドライン

佛教大学

令和3年度入学者選抜実施にあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、文部科学省「令和3年度大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドライン」に基づき、以下の通り対策を講じたうえで実施します。

- ① マスク着用の義務付けについて
発熱・咳等の症状の有無にかかわらず、試験場内では、昼食時を除き、マスクの着用を義務づけます。休憩時間や昼食時等の他者との接触、会話を極力控えるよう要請します。
- ② 試験室・座席間の距離の確保について
試験室において、受験生の人数を通常の講義での使用時における収容定員の半分程度以内とします。座席の配置は、なるべく1メートル程度の間隔を確保します。
- ③ 試験室の机、椅子の消毒について
試験前日に消毒用アルコールを使用した拭き取りを行います。
- ④ 速乾性アルコール製剤の準備について
試験場入口や試験室ごとに速乾性アルコール製剤を配置し、試験室への入退出を行うごとに、速乾性アルコール製剤による手指消毒を義務づけます。
- ⑤ 換気の実施について
試験時間中は一部の窓を開放のうえ換気を行い、1科目終了ごとに、すべての窓や扉を可能な限り長く開放し、換気を行います。
- ⑥ 面接試験の実施について
受験生同士及び評価者との距離は2メートル以上を確保し、常時窓を開放し、換気を行います。
- ⑦ 試験終了時の試験室からの退出方法について
終了時の混雑を避けるため、各試験室からの一斉退出は行わず、あらかじめ教室ごとに退出の順番を決め、一定間隔を確保し退場させます。

⑧ 昼食時の対応について

昼食時の受験生同士の会話、交流、接触を最大限に抑制する観点から学生食堂の開放等を行わず、受験生には昼食持参と自席での食事を要請します。試験日については自席での飲食を認めます。

⑨ 付添者控室について

基本的に付添者の構内への入場はお断りします。ただし、付き添いが必要な場合は、受験生と同等の感染予防を講じることを条件に、入場を認め、指定した控室のみ利用を認めます。

⑩ 試験監督者等に対する感染対策について

「三つの密」の回避や、人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗いなどの手指衛生をはじめとした基本的な感染対策の継続など、感染拡大を予防する「新しい生活様式」を実践します。

⑪ 受験生への要請事項について

- ・発熱・咳・嗅覚・味覚障害等の症状がある受験生は、あらかじめ医療機関にて受診してください。
- ・新型コロナウイルスに罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない者や、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者は受験をお断りします。

ただし、無症状の濃厚接触者(保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた者のほか、過去2週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域から日本に入国した者を含む)で、下記に該当する者は「別室」による受験を認めます。受験日前日の午前10時までに、佛教大学入学部まで電話連絡してください。

(1)初期スクリーニング(自治体によるPCR検査および検疫所における抗原定量検査)の結果、陰性であること

(2)受験当日も無症状であること

(3)公共の交通機関(電車、バス、タクシー、航空機(国内線)、旅客船等)を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に行くこと

- ・試験当日、自宅にて検温をしてください。37.5度以上の熱がある場合は受験をお断りします。熱はないものの、咳等の症状のある受験生は、その旨を試験監督者等に申し出てください。また、当日試験会場にて検温をお願いする場合があります。

以上